

行動援護従事者養成研修課程カリキュラム

科目名	時間数	内容	
1 講義	10		
1) 強度行動障 がいがある 者の基本的 理解	1.5	①強度行動障がいとは	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修の対象となる行動障がい ・強度行動障がいの定義 ・強度行動障がい支援の歴史的な流れ ・知的障がい／自閉症／精神障がいとは ・行動障がいと家族の生活の理解 ・危機管理・緊急時の対応
		②強度行動障がいと医療	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障がいと精神科の診断 ・強度行動障がいと医療的アプローチ ・福祉と医療の連携
2) 強度行動障 がいに関する 制度及び 支援技術の 基礎的な知 識	5	①強度行動障がいと制度	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援給付と行動障がい／他 (例) 支援区分と行動関連項目・重度訪問 介護の対象拡大・発達障がい者支援体制 整備・強度行動障がい支援者養成研修
		②構造化	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化の考え方 ・構造化の基本と手法 ・構造化に基づく支援のアイデア
		③支援の基本的な枠組みと記録	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の基本的な枠組み ・支援の基本的なプロセス ・アセスメント票と支援の手順書の理解 ・記録方法とチームプレイで仕事をする大 切さ
		④虐待防止と身体拘束	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止法と身体拘束について ・強度行動障がいと虐待
		⑤実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・児童期における支援の実際 ・成人期における支援の実態
3) 強度行動障 がいがある 者へのチー ム支援	3	①強度行動障がい支援の原則	<ul style="list-style-type: none"> ・チームによる支援の重要性 ・支援の6つの原則 ・地域で強度行動障がいの人を支える
4) 強度行動障 がいと生活 の組立て	0.5	①行動障がいのある人の生活と支援の 実際	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障がいのある人の家族の思い ・日中活動場面における支援 ・夕方から朝にかけての支援 ・外出場面における支援
2 演習	14		
1) 基本的な情 報収集と記 録等の共有	1	①情報収集とチームプレイの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の入手とその方法 ・記録とそのまとめ方と情報共有 ・アセスメントとは

2) 行動障がいがある者の固有のコミュニケーションの理解	3	①固有のコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なコミュニケーション方法 ・コミュニケーションの理解と表出 ・グループ討議／まとめ
3) 行動障がいの背景にある特性の理解	1. 5	①行動障がいの背景にあるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚・知覚の特異性と障がい特性 ・行動障がいを理解する冰山モデル ・グループ討議／まとめ
4) 障がい特性の理解とアセスメント	3	①障がい特性とアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい特性の理解 ・障がい特性に基づくアセスメント ・行動の意味を理解する
5) 環境調整による強度行動障がいの支援	3	①構造化の考え方と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・強みや好みを活かす視点 ・構造化の考え方 ・構造化の方法
		②支援の手順書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・日中活動場面における支援の手順書 ・外出場面における支援の手順書
6) 記録に基づく支援の評価	1. 5	①記録の収集と分析	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の記録の方法 ・記録の整理と分析 ・再アセスメントと手順書の修正
7) 危機対応と虐待防止	1	①危機対応と虐待防止	<ul style="list-style-type: none"> ・危機対応の方法 ・虐待防止と身体拘束
合計	24		